

月刊 天真

9月号

発行日 2025(令和7)年9月1日
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺
 住職 西原恵照
 第582号

過ぎ行く夏はお盆 やってくる秋はお彼岸



今年は11月まで暑い！という予報ですが、それでも夏の盛りは過ぎ、夕方吹く風には少しずつ季節の移ろいを感じるようになりました。今夏もお寺では3日間にわたりお盆法要をつとめ、多くの皆さまにお参りいただきましたこと、深く御礼申し上げます。何より、役員さん一同が暑い中を汗だくになりながらご尽力くださったおかげと心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。来たる秋にはお彼岸法要をつとめます。ぜひ皆さまお参りくださいませ。9月23日(火・秋分の日) 午後1時半 合掌



会長ご挨拶



法要の合図は喚鐘(かんしょう)



司会 & 音響



滋賀県鎌田先生のご法話



案内 & 熱中症予防の飲料物をお配りしました



お盆法要は住職 新盆法要は副住職が御礼



8/14~15 お盆法要 & 新盆法要 盆名簿を尊前に奉献いたしました



8/13 大町やすらぎパークでやすらぎ堂お盆法要をおつとめました

今月の予定

2025年 9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
7 7:00日曜礼拝 ●	8	9	10	11	12	13
14 7:00日曜礼拝 ●	15 敬老の日	16	17 9:30平和を願うつどい (築地本願寺)	18 12:45全戦没者追悼 法要(千鳥ヶ淵墓苑)	19	20 13:30グランドゴルフ
21 7:00日曜礼拝 ●	22	23秋分の日 10:30 やすらぎ堂秋彼岸法要 13:30天真寺秋彼岸法要 ●	24	25	26	27
28 7:00日曜礼拝 ●	29	30	役員さんには12時半にご集合お願いいたします			
			 <来月の予定> 10月20日 法話会			

● 印がついている行事はオンライン配信します。天真寺HP、またはこちらから

→<http://www.koumyou.net/tenshin>

お寺の行事は
このQRコードから
オンライン参加
できます



天ちゃんの一言

- 副住職が法話の旅～長野教区の定例線講師をつとめます 9/15(月)～20日(土)
6日間で長野市→松本市→岡谷市と移動し、合計12座の法話をします。頑張ってください。
- 現在「大町やすらぎパーク」に数区空きがあります。ご希望の方はお寺までご相談ください
- 「天真寺門信徒会」 仏さまのお話を聞き、お念仏申す豊かな人生をともに歩みましょう
毎月 寺報と仏教冊子を送付し、法要や法話会のご案内をしています。お寺の行事はすべて参加自由です。仏さまのみ教えを聞いて、確かな人生の拠りどころを見つけませんか。
年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186
- 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています
「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn (住職のブログ)
「天真寺通信」 tenshin.or.jp/ (副住職のブログ)



入会随時募集
門信徒会
に入りませんか

お寺の掲示板の言葉

私たらは 無知によって
道に迷うことはない
自分が知っていると
信ずることによって 迷うのだ
(ジャン=ジャック・ルソー)



浄土真宗
本願寺派

天真寺

〒270-2251
千葉県松戸市金ケ作106
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp





天真寺 秋の彼岸法要



【日時】 9月23日(火・秋分の日) 午後1時半(受付1時)～3時半

【講師】 福間 義朝 師

(京都 中央仏教学院 院長・広島県三原市 教専寺住職・本願寺派布教使)

私たちの心に添った大変味わい深い仏さまのお話を聞ける、年に一度の貴重な機会です。ぜひぜひ時間を作って、お聴聞ください。人生の悩みや仏教について等、先生に聞きたいことがある方は、質問・疑問を書いて、法要当日受付にお持ちください。

【場所】 天真寺本堂(椅子席)



どなたさまもご自由に参加いただけます。人生においてとても大切なこと、ちょっと立ち止まって聞いてみませんか。当日、直接お寺にお越しください。(申込不要)



やすらぎ堂 秋彼岸法要

【日時】 9月23日(火・秋分の日)
午前10時半～11時

【場所】 大町やすらぎパーク内「やすらぎ堂」

どなたでもご参加いただけます。やすらぎ堂はお寺管理の安心の永代合葬墓です。

戦後80年記念
平和を願うつどい【日時】 9月17日(水)
午前9時半～午後3時【場所】 築地本願寺
参加費無料・申込不要【プログラム】 法要・法話、
コンサート(ジャズピアニストの被爆ピアノ演奏)、
平和フォーラム「私の被爆体験とその後の人生」

9月18日は「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」も営まれます(詳細は本願寺HPでご確認ください)。どなたさまもご自由にご参加ください。



(ひとくち法話 前のページの続き→)

「シャボン玉」は野口雨情が子どもを幼くして亡くした時に作られたといわれます。同じ詩が二回繰り返されているところにも、雨情の悲しみが伝わります。

しかし阿弥陀仏のはたらきにおいては、風が吹いても、はかないシャボン玉は消えません。そのシャボン玉は阿弥陀仏の世界に生まれるのです。

今年七回忌を迎えたあの少年も、阿陀仏の世界、お浄土に生まれたのです。

「七つの子」に涙したのも、カラスの中に、親という者の底なしの想いを心で感じていたんだろうと思います。カラスと言えば、童謡「夕焼け小焼け」にも出てきます。

夕焼け小焼で 日が暮れて
山のお寺の 鐘が鳴る
おててつないで みなかえろ
からすと いっしょに かえりましょう



お彼岸です。みんないっしょにお浄土に帰りましょう。(終) <『本願寺新報』彼岸号 掲載原稿>



ひとくち法話「七つの子」

天真寺副住職 西原 龍哉

先日、私は15歳で亡くなられた子どもさんの七回忌のご法事に参りました。お母さんから勤行の後に、その少年のさまざまな思い出話を伺いました。少年は発達障害があったそうですが、とても優しくいつもニコニコしていたそうです。

そして私が特に印象に残ったのは、童謡「七つの子」を聞くと、いつも涙していたというお話です。「七つの子」は野口雨情という人が作詞した曲です。彼は他に「シャボン玉」「赤い靴」「青い眼の人形」等の作詞をしています。

ドリフターズのお笑い番組で育った私にとっては、「からす なぜなくの」の続きというのと、「からすの勝手でしょう」というフレーズがすぐに出てきます。そこで、私は改めて「七つの子」の詩を調べてみました。

からす なぜなくの からすは 山に
かわいい 七つの子があるからよ
かわい かわいと からすは なくの
かわい かわいと なくんだよ
山の 古巣へ いってみて ごらん
まるい 目をした いい子だよ



改めて読んでみて、とてもシンプルな詩なのに、カラスの愛情いっぱい深い内容だなと思いました。少年は親カラスが子どもを思って鳴くことに涙したのでしょうか。

私はこの詩から阿弥陀仏を連想しました。

あみだ なぜよぶの あみだは やみに
かわいい 無数の子があるからよ
とこんな替え歌にしてみました。

阿弥陀仏は南無阿弥陀仏の声となり、それは十方世界に響き渡っています。闇の中で闇を闇とも思わず無数の衆生が苦しんでいます。それらを一人として見捨てられないのが阿弥陀仏です。



カラスで私の記憶に残ったご法話があります。その先生はドキュメンタリー番組で東京のカラスの生態を見ていたそうです。

東京のカラスは木の天辺に近い枝に、ハンガーで巣を作ります。カラスの雛が生まれるのは梅雨時で、夫婦のカラスが二羽でエサを巣に運んでいきます。丁度二羽とも巣にいない時に、バケツをひっくり返したような大雨が降り始めました。カラスの巣には屋根がないので雛たちはずぶ濡れです。



すると一羽のカラスが帰って来て、雛の上に覆いかぶさりました。雨は親カラスに叩きつけています。でも親カラスは必死に雛を抱き続けます。親カラスの翼はもう引き裂かれそうになっています。その姿がテレビでアップに映った時、先生にはその姿が「悲」という字に見えたそうです。非は翼が引き裂かれたように見えます。翼が引き裂かれそうになっても抱き続ける心から、慈悲の悲に見えたのだと言われました。

この私も阿弥陀様に抱かれ続けられています。大雨が降っていても、大雪の中でも、強風の中でも抱き続けてくださっています。それが南無阿弥陀仏です。お念仏が出る時、私は阿弥陀仏にしっかりと抱かれているのです。

野口雨情という人の「シャボン玉」もこの度読んでみました。

シャボン玉 とんだ やねまで とんだ
やねまで とんで こわれて きえた
シャボン玉 きえた とばずに きえた
うまれて すぐに こわれて きえた
かぜ かぜ ふくна シャボン玉 とばそ

シャボン玉 とんだ やねまで とんだ
やねまで とんで こわれて きえた
シャボン玉 きえた とばずに きえた
うまれて すぐに こわれて きえた
かぜ かぜ ふくна シャボン玉 とばそ
(→次のページに続く)

